

SC-IB News '15.07

事務局通信
01/JUL/2015



<http://www.scout-ib.net/>

◆ 標準団を目指すということ その2

先日7/12に団委員長セミナーがありました。パネリストとして2人の団委員長がお話をされましたが、2人とも「標準団を目指すべく頑張っている。だから、100人規模の団に成長することができた」と申しておられました。その一方で、参加者側は、気持ちは持っているけれど、次の行動が起これない団委員長、諦めてしまっているのか、否定的な言動の団委員長・・・様々でしたね。

セミナーに参加された方々は、皆さん現在の団に対して「やはりいい状態ではない」と思っている、手をつけられずにいるのが現状のようでした。どうしてでしょう。おそらく、団の関係者全員が今の状態に何らかの違和感を感じていて、現状を変えなければならぬと思っているんでしょうけれど、「標準団にするぞ」という行動を起こすには、誰かが言い出しっぱにならなきゃならないんですよ。行動を起こすとするとかなり面倒な「調整」を自分が主体でやらなくちゃならなくなるわけです。それは避けたいんですよ。言い出すことによって生じる責任、やり始めたからにはそれをやり遂げるまでやめられないそのエネルギー。もし失敗してしまったときのリスク。結局は傍観者になる関係者達・・・成功すれば自分の手柄失敗すれば責任追及。これでは、変化に向けての最初の一歩を踏み出すとはできないですよ。これが今の日本という社会なんですよ。

でも、あの2人の団委員長は違ってたんです。団を興した情熱と責任、そして意志。そ

れに良き人間関係の樹立。「実践躬行」で主体的にアクションを起こしたからこそ、その気持ちが周りに浸透して100人規模の団に成長できたのでしょう。それを実践者の言葉として語ってもらえたことが、このセミナーの最も大きな成果だったと思います。

皆さん、勇気を持って一歩を踏み出しましょうよ。

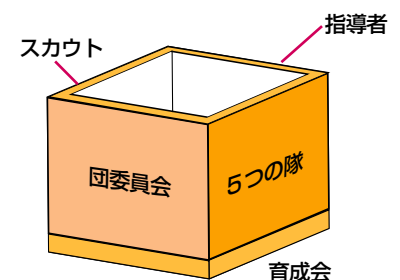
さて、先月の続きです。今回は、標準団の構成の1つである「入れ物(器)」について話しました。右図の底面と側面がそれぞれ。底面が「育成会」、側面はそれぞれ「団委員会」「隊」「指導者」そして「スカウト」で、それぞれの在り方や機能、役割が教育規定に示されています。基準を満たした5つの面により「標準団」という器が作られます。

次は、そこに入れるもの、「中味」についてです。ここに入るものは、ボーイスカウトの教育や運営の仕組みであり、制度になります。具体的には・・・

班制教育、進歩制度、野外活動(昔は技能章制度)、スカウティングの基本原則、スカウト教育法(ちかいとおきて、小グループ、個人の進歩、行うことによって学ぶ、自然の中の活動、象徴的枠組み、成人の協力)。スカウティングの4本柱・・・。

・・・等です。

いくら、ボーイスカウトという器を作っても、これらが実施されていなかったら、それはボーイスカウトとは言えません。良く聞く



『マイ・スカウティング(My Scouting)』も同じです。団委員長であれば、団に所属する人にこれらの仕組みや制度について機会あるごとにきちんと説明していますよね? そして、それは何のためにあるのか・・・も。

ところで、皆さんは募集にあたって保護者の方々にどんな説明をしていますか? そうですよ。これらの「中味」のことについて主に説明していますよね。「ボーイスカウトとは」・・・と。

それでは、説明したことを団・隊でちゃんと実施しているでしょうか? できているでしょうか? していない・できていないとしたら、それをしなくてはなりません。だって私たちはボーイスカウトなんですから。『名誉』があるからこそ存在できているのがボーイスカウトなんですから。

「スカウトの名誉は、信頼されることである」です。このまま何もしていないと、保護者はもちろん、地域からも「信頼」されなくなってしまいます。そしたらもう終わりです。

「♪名誉、名誉、重きぞ名誉、フレ、フレ、フレッ!!」 名誉は努力と実行で掴み取るものです。だから「フレ、フレ、フレッ!!」と自らを鼓舞しているのです。(次回に続く)

◻ 新しいユニフォームについて

新しいユニフォームについては、いろいろな形でお知らせしているので、ご存知のことと思いますが、改めて茨城県連盟の対応について、ここでお知らせします。

「街中でボーイスカウトの姿が消えた」という意見を加盟員以外の方から寄せられることも多くあります。これは、加盟員数の減少も影響していますが、制服の象徴性の低下や、デザイン性の問題から、

集会に行き来する際に制服を着用しないことも原因になっています。また、現在の制服は経済面での負担が大きいともいわれています。

こういったことを受け、スカウト運動を活性化し、さらなる発展を目指して、活動しやすく、ボーイスカウトというブランドを再び社会へ定着させ、新たな加盟員の増加を期して制服の改定を行いました。



新ユニフォームのコンセプト

●シンボリックユニフォーム×デザイン

ハットの復活により、地域社会の中で形成されているスカウトのイメージの再構築を図るとともに、ビーバー部門は「みんなと仲良く遊ぶ」、他の部門は「進級章などをつけ、自ら作り上げる制服」を念頭に置き、デザインはシンプルなものとししました。

また、上下で異なる色やストライプを使ったコーディネートなどで、より象徴的なデザインにしています。

●より良いもの×経済的

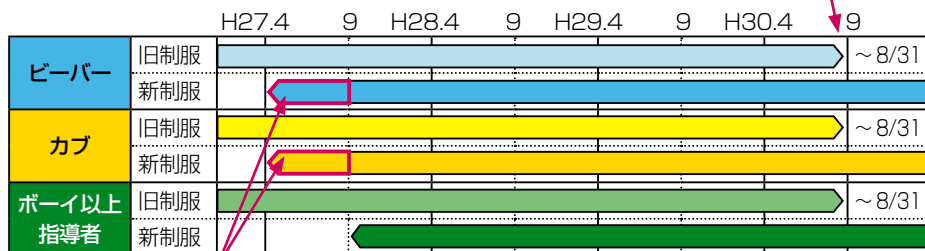
現在の制服に比べ、動きやすく、しわになりにくく、さらに活動に適した素材を使用し、品質の向上させました。また、上着やズボン等は現在の販売価格の8割の価格で販売できるよう様々な調整を行いました。

● どのようなスケジュールで新ユニフォームに移行するの？

ビーバーとカブの新ユニフォームは、既に3月末から販売されています。

ボーイ以上（指導者まで）の新ユニフォームは、23WSJが終了した後、9月から販売が始まる予定です。

今までの制服については、**平成30年(2018年)の8月31日まで着用することができ、それ以降は着用できなくなります。**それを下に図示しました。



※この期間は、新ユニフォームに旧記章を着け、9月以降に新記章に着け替えます。
※旧制服の記章は、そのままH30/8/31まで着けることができます。

旧制服から新ユニフォームへの移行時期については、各団の都合によって各団で決めます。

移行する際に配慮していただきたいことは、今年（H27）の4月から、ベンチャー部門を除く各部門（隊）の進級時期が4月となりました。プログラムの年度が4月スタートとなったわけです。同時に、カブ部門では進歩の内容が変更となり、うさぎ・しか・くまの進級記章の取得の方法もデザインも変わりました。旧制服の場合は、記章・標章の着用は、旧規程に従いますが、進級記章や月の輪章等は、平成27年4月施行の改正規程に従い着用します。

ビーバー部門は、ビーバー・ビッグビーバーの進級記章がなくなりました。またネッカチーフは、隊で統一したものを着用することができますが、必須ではなくなりました。小枝章や布製の年功章（1年章）を帽子の左側に着用します。さらに、上着には、世界スカウト章、ビーバーマーク以外の記章・標章類は着用しない等、大幅に変更となっています。できることなら、時期を見て、全てのスカウトが同時期に新制服に移行することも考慮してください。

ボーイ以上の新制服は、基本的に部門共通の同じデザインです。

● 新ユニフォームや新記章は どこで買うの？

右が、上から新しい「所属連盟章」と「所在地名章」そして「団号章」です。

所属連盟章は、各都道府県それぞれで独自のデザインとなっています。「茨城」は、筑波山と霞ヶ浦に浮かぶ帆船き船、太平洋、県の木である梅の花に茨城のシンボル？のスカウトくんをあしらった図柄を理事会で決定しました。

新ユニフォームと新記章は、茨城県連盟事務局を通じて購入できます。ただし「所属連盟章」は茨城県連事務局でしか購入できません。

ビーバー・カブの新ユニフォームは、すぐに申し込ただけです。ボーイ以上の新ユニフォーム、そして全ての新記章は、8月以降の申込対応となる予定です。



※これは、ボーイスカウト以上の制服に着ける標章です。ビーバースカウトは、これらの標章は着用しません。カブスカウトでは、カブスカウトの制服の色に合わせた紺地に金色文字のカラー（Blue & Gold）の「所在地名章」と「団号章」となります。

◎ ビーバースカウトの制服は？

ビーバーの新制服は、「みんなと仲良く遊ぶ」をポイントに、これまでの制服であるベストから、活動しやすく普段でも着られるポロシャツ、トレーナー（ニット製品）になりました。

水色を基調に、襟と袖を汚れが目立たぬよう紺に。左胸にはビーバーマークと世界スカウト機構のワッペン。動きやすく、しわがよりにくい素材を採用しています。

また、従来のマークをよりポップで親しみやすいものとして各アイテムに刺繍しました。トレーナーに関しては、規程上、着用することができるとしており、他の部門の長袖同様、制服のアイテムの1つとなります。

ビーバーキャップ、ポロシャツ、トレーナー以外のもの（ズボンなど）は任意のものを着用します。



◎ カブの制服は？

現在定着している紺と黄色のイメージを踏襲。このイメージカラーは、戦後、アメリカ連盟初代総長のアーネスト・シートンのアイディア「紺（真実と精神性、忠誠心、空の色）と金色（元気、幸福、暖かい日光）」を参考にして制服を制定し現在に至っています。また、半ズボンの丈などは現行の物より長く、よりスタイリッシュになっています。

- 制帽 ▶ 紺地に黄色のパイピングのキャップ
- 上着 ▶ 紺色のシャツ

- ズボン ▶ 紺色のブッシュパンツ
※上着は半袖、長袖、ズボンは半ズボン、長ズボンを選択可能。ただし半ズボンの場合は規定のストッキングを着用する。
- ストッキング ▶ 紺地に2本の黄色のストライプ。
- ベルト／バックル ▶ 紺地に2本の黄色のストライプのベルトとカブバックル。
- ネッカーチーフ ▶ 黄色又は隊で統一して定めたもの



◎ ボーイ・ベンチャー・ローバー・指導者の制服は？

「ちかい」を立てたスカウトを共通の制服とし、一体感を高めた他、ボーイスカウトのシンボルともいえる「ハット」を再び採用。ボーイスカウトのイメージを社会に復活させるデザインとしました。

また、上下を別々の色にし、シャツが従来どおりのベージュに。ズボンは、B-P が最後まで着用していた制服のオリーブ色とし、活動しやすいブッシュパンツを採用しました。

新たに中折れ帽も正帽とし、指導者はウール混紡でタックの入ったズボンも着用できます。

【ボーイスカウト】

- 制帽（ハット／中折れ帽）▶ 男子はハット、女子は中折れ帽かハットを隊で統一して着用します。帽子ベルトはストライプ柄です。帽章は、ハットは正面、中折れ帽は左横に着用します。ベレー帽は着用できません。
- ベルト ▶ 男女ともバックル付きの紺色と緑色のストライプ柄の布ベルトを着用します。
- 長袖も着用することができます。
- ネッカーチーフ ▶ 黄色又は隊で統一して定めたもの

【ベンチャースカウト】

ボーイ部門との違いは

- ベルト ▶ 男女とも、バックル付きの、緑色無地の布ベルトまたは革ベルトを着用します。
- ネクタイは着用できません。

【ローバースカウト】

ベンチャー部門との違いは、

- 制帽（ハット／中折れ帽）▶ 男子はハット、女子は中折れ帽かハットを隊で統一して着用します。帽章は、ハットは正面、中折れ帽は左横に着用します。帽子ベルトはストライプ柄です。ベレー帽は着用できません。

【団・隊指導者】

ローバー部門との違いは

- 制帽 ▶ 帽子ベルトは、ハットは革ベルトを着用します。中折れ帽はストライプ柄です。

- ボーイ部門以上と同じズボンの他にウール混紡のズボン、長袖も着用することができます。ネクタイやスカートは着用できません。

【旧制服の場合】

- 記章や標章の着用は、旧規程に従います。
- ベレー帽かハットを着用することができます。女子は中折れ帽の着用はできません。
- ベルトは、スカウトはスカウトバックル、指導者はリーダーバックル付きの制服と同色の布ベルトか茶色の革製のベルトとし、新制服の布ベルトは着用できません。



◆ 指導者のつどい

テーマ『ボーイスカウトを元気にしようぜ! その1』

7月4日(土)に、平成27年度第1回指導者のつどいが、土浦市青少年の家で開催され、指導者やコミッショナー、トレーニングチーム員など50余名が「ボーイスカウトを元気にしようぜ」のテーマで、①想定とストーリー ② Safe from Harmについて、研究をしました。詳しくは、後述の参加者の感想をご覧ください。

【感想】

ボーイ隊副長 R.T

一体今日はどんな形式で、どんな事をするのかな、と思いながら参加した指導者の集い。セレモニーが済み、部門ごとに分かれたと思ったら、いきなり外でゴミ拾い。何か意図があるはずと思いを巡らせながら、きれいな敷地内にも、よく見るとちらほらとゴミが落ちていた。

少しすると集合がわかり、今度はゴミ拾いをスポーツにするという。チーム対抗で大きさ、貢献度、総重量で勝負。私は、素手ではできるだけ触りたくない、ぴっちり濡れたドロドロの小さなタオルを拾ったのに、負けてしまった。スポーツとまでは行かなくても、ゲーム形式にすると、楽しんでできるもんだな、と感心して戻ってくると、なんと部門ごとにミッションが違かったらしい。

BVSは、たくさん色を集めよう。CSは、魔法の杖を探そう。VSは、どうしたら不法投棄をなくせるか考えながら拾うという。

これならやらせている感もなく、ゴミ拾いができる。なるほど。。奥が深い

さて、今日の本題の想定とストーリーでは、BSのお題は、「ハイキングを行いながら、カレーの食材を獲得する。」私も、先日の隊集会のハイキングで隊長が出したミッションを思い出し、案を出して、みなさんと一緒に、とても面白そうな想定が出来上がった。子どもたちにも、想像力を膨らませて、楽しんでもらいたいと思う。

最後に、セーフ・フロム・ハームについて、スカウト運動についての、BS隊で実際にあった事例などからも、BSでは班ごとの活動が主なので、われわれ指導者の目が届かない所で、いやな思いをしている子がいるかもしれないので、気を配くばらないといけななと思いました。今回、指導者の集いに参加して、グループで話し合った事で、様々な案や意見、考え方が交換されたので、隊でもリーダー会議等を開いて、想定等もみんなで作るといいと思いました。



ボーイ隊副長 T.I

私でもこれからのスカウト活動で何かできるだろうかという不安な気持ちはありましたが、今回初めて「指導者のつどい」に参加させて頂きました。研修は各部門に分かれてとなりました。

§1では「想定とストーリー」を立てるにあたり楽しいプログラムとは・・・

- ① 心身ともに健康であること(スカウトもリーダーも)
- ② よい計画であるか
- ③ より高い技能の習得が組み込まれているか
- ④ ショーマンシップ(良い雰囲気、良い演出で行えるか)
- ⑤ スマートなプログラムであること

と、何より彼らを惹きつけるものであるかとお話に難しさを感じていましたが、実際に「ゴミ拾い」というプログラムが始まり、最初は全くやる気のない私でしたが、村田コーディネーターの想定とストーリーにはまり、草木を分けてでもゴミを夢中で拾う私が居た次第です。

まさに「明確な目標」がみえたプログラムでした。

楽しいプログラムを実施するにあたっての骨格、具体的方向を示す「企画書と計画書」の違いでは、企画書においては年代別にスカウトがより想像が広がっていく、魅かれるようなテーマ、想定、目的、目標、ねらい、方法、人数などとなる。そして計画書はリーダーの誰が見てもわかるもの、役割分担、展開表、時間割、準備物、安全、その他となるなど、分かりやすくお話しいただきました。そして各部門でテーマに沿ってプログラムの想定とストーリーを展開したわけですが、各団の隊長の方をはじめ、各リーダーの皆さんより次々に提案される「想定とストーリー」に活動を想像し最後までワクワクしました。

§2では「セーフ・フロム・ハーム」における世界の動向について、スカウト運動においても「ちかい」「おきて」をもとに、安全で安心できる活動をめざし、「セーフ・フロム・ハーム」が導入されたこと、他への気づきができ、思いやりの気持ちを育む人づくりを目指していくことのお話がありました。すべての対人関係でのいじめとハラスメントの違いについても学びました。実際に起きた事例などの話では暗い雰囲気はありましたが、「常におきての実践」「信頼関係」が大切であることを再認識し、いくら楽しいプログラムが行われていても、「楽しくない」につながるというお話にハッとしました。

今回の研修を受けて、ボーイスカウト活動に携わってよかったとはっきりと思いました。ありがとうございました。



◆ 県連ホームページが新しくなりました!

7月7日の七夕に合わせて、県連ホームページがリニューアルされ、公開されました。今までの手作り感いっぱいのもの（実際全てのダグを手入力していました）から、最新アプリを導入して、今風の洗練された？見やすいものになり、より直感的に目的のページにアクセスできるようになりました。

リニューアルに伴い、よりスカウティングへの理解を深められるように、そしてスカウティングを楽しめるようにコンテンツも充実していますが、全てのページが揃うまでにはもう少し時間がかかります。

さて、新ホームページでいちばん目に付くところは、TOP画面3枚の写真でしょう。7.5秒ごとにスライドします。ここに載る写真は、皆さんから提供された写真です。前のHPの「オープニングフォト」に続いて募集しています。ただ、サイズが極端な横長（約10:4）なので、それに合った構図でトリミングできる写真をお願いします。

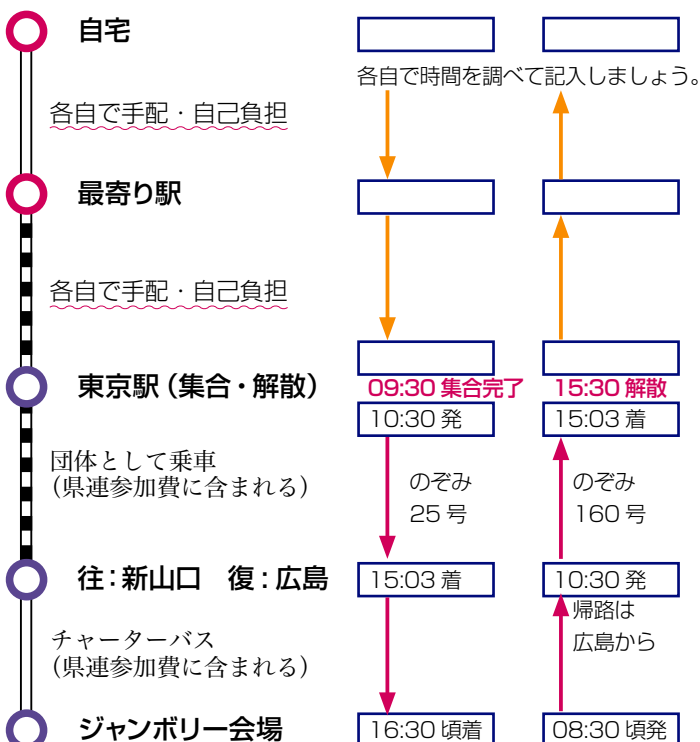
これからも、まだまだ成長していく新県連ホームページ、ご期待ください。
<http://www.scout-ib.net/>



◆ 23WSJ 交通について 修正

既に保護者説明会でも周知されたいことですが、先月のSC-IB NEWSでお知らせしました、第23回世界スカウトジャンボリー・茨城参加隊の往路の到着が『新広島』から『新山口』に変更になりましたのでお知らせします。

また、東京駅の集合場所は、八重洲口の北寄り「日本橋口」の改札の外です。県連担当者が**黄色い茨城県連の幟**を掲げていますので、そこに集合ください。くれぐれも遅れないように、「そなえよつねに」ですよ。
【注意】 往路は、最寄り駅から東京駅までの切符を買って電車に乗車ください。帰路は、東京駅で最寄り駅までの切符を買うことになります。
切符の購入代金は使わずに残しておくんですよ!!



■ボイスカウト日本連盟は、映画

「GAMBA ガンバと仲間たち」

を応援します。

今から約40年前の1972年に刊行された一冊の児童文学「冒険者たち ガンバと15ひきの仲間」(斎藤惇夫著)。小さなネズミを主人公にしたその壮大な冒険物語は、子どもたちのみならず、大人も魅了し、幅広い年代に愛されてきました。そんなストーリーが今年の10月に3DCGアニメーションとして誕生します。

キャッチコピーは「仲間って、勇気」。主人公のガンバが持つ「強い意思」と仲間たちが一つになってこそ生まれる「強い力」、仲間の大切さに焦点を当てたこの映画を、ボイスカウト日本連盟は応援いたします。

●映画「GAMBA ガンバと仲間たち」

公式サイト <http://www.gamba-movie.com/>



◆ 23WSJの様子をチェックしよう! 県連のフェイスブック運用開始!

既に第3隊のフェイスブックが運用されていますが、現地での参加スカウトたちの様子やジャンボリーの様子をお知らせするために、県連でもジャンボリー専用ホームページを立ち上げました。

各隊の指導者や大会スタッフ、ビジターとして訪問する県連の役員等が情報を発信します。ご期待ください。

Facebookには、こちらからアクセスしてください。

<https://www.facebook.com/23wsjibaraki>



■ ベンチャー部門・新企画！！

になるぞーっ

“ベンチャー隊富士野営”の内容が決まった！！

今年の県ベンチャー・プログラムの目玉は、ベンチャー隊富士野営、通称『富士なっぺ!』だ。

いよいよヶ月後に迫ったこの野営は、8月16日からの1週間の長期に亘って、大和の森・高萩スカウトフィールドを舞台に繰り広げられる。

『富士なっぺ!』はどう運営されるのか・・・という、

- ①初日に参加ベンチャー全員でミーティングを行う。
 - ②活動チームを編成して、『富士なっぺ!』で何に取り組むのかを決める。取り組む活動については、『富士なっぺ!』に相応しい、用意されたいくつかのプログラムから選択する。もちろん独自のプログラムを展開することも可能だ。
 - ③A～D群からそれぞれ1つのプログラムを選択して、実施スケジュールを立てて取り組む。
- である。

ちなみに、準備が可能なプログラムは、次の通り。

【A群】大型構築物系（複数日）

- ㊟信号塔
- ㊟架橋
- ㊟ツリーハウス
- ㊟納涼床・河床

【B群】冒険的プログラム系（基本的に1日）

- ㊟大和の森・地図づくり
- ㊟カヌーツーリング
- ㊟シャワークライミング
- ㊟釣り（食材獲得として実施）

【C群】食のプログラム系

- ①保存食（干物・燻製等）
- ①野趣料理

【D群】必修プログラム

- ㊟キャンプファイアとお話（お話のテーマは、参加スカウトのリクエストによる。進歩課目絡み。）（毎晩）
- ①トーテムポール作り（8/22）

■ ベンチャー隊富士野営の実施要項

- ・期 日 2015年8月16日（日）～23日（日）
- ・集 合 8/16 10:00 現地
- ・解 散 8/23 12:00 現地
- ・場 所 「大和の森」高萩スカウトフィールド
- ・参加費 15,000円（当日納入）
食費、プログラム運営費等
- ・募 集 所定の用紙に記入し、8/10までに提出（団経由で隊長に送付、HPにも掲載）
- ・対象者 茨城県の団に所属するベンチャースカウトで、所属隊長の許可が得られたスカウト奉仕のローバースカウトも募集
- ・活動 現地で活動チームを編成して、活動を行う。
- ・その他 ・全てソロキャンプで自炊。（男女別・個人）
・全期間参加が「原則」。（全期間参加ができないスカウトは要相談）
・野営装備及び必要装備は持参。
- ・主 催 日本ボーイスカウト茨城県連盟
コミッションナーグループ
プログラム委員会 等

■ 富士なっぺの生活

富士なっぺでの生活は、基本的にソロキャンプの集合体である。テントで寝るのは「各自」で。食事「各自」だ。食料の買い出しは、買い出し当番が、各人からの毎日提出される食材リクエスト用紙によって1日1回夕方に行きに行く（リーダーの車で）。炊事は個人だけど、食べるのは仲間と。個人の時間には勉強したり、洗濯したり、昼寝したり・・・することができる。毎朝、点検があるよ。

■ 参加者の装備

個人用テント、個人用炊具（バーナーと燃料、クッカーなど）と食器、その他1週間のキャンプを快適に過ごす装備を各自で考えて持参する（不安であれば、指導者や先輩に相談すること）。

以下は必須装備→折りたたみ椅子、薄手の作業用革手袋、主食の米・必要分、水筒、個人用救急医薬品、ナイフ、トレッキングシューズ、スカウト歌集、ベンチャーHB。小分けにしたちょっとした調味料もあるといい。

その他左欄の予想されるプログラムに必要な個人装備（例：水着、筆記用具、日焼け止め、虫さされ薬など）。

●基本日程

- 8/16 集合、開会式、オリエンテーション、設営、食事計画
プログラム活動計画
- 8/17～21 A～D群のプログラムを実施
- 8/22 メモリアルプログラム、富士スカウト顕彰+大宮火
- 8/23 撤収、閉会式、解散